

ベルンドルフ市との 60 年のあゆみ

花巻市とオーストリア共和国のベルンドルフ市との交流は、^{はやちねさん}早池峰山に咲くハヤチネウスユキソウと、アルプスに咲くエーデルワイスが植物学的に姉妹関係にあることをきっかけに始まりました。

「二つの花を対面させたい」という思いから交流が生まれ、1965 年（昭和 40 年）10 月 12 日には旧大迫町とベルンドルフ市で^{ゆうこう と し ていけつ きねんしきてん}友好都市締結の記念式典が行われました。この日はのちに^{ていけい}提携記念日となりました。

2006 年（平成 18 年）11 月には、市町村合併により新たに誕生した花巻市とベルンドルフ市との間で、^{けいぞく ちょういん}提携継続の調印が行われました。友好都市締結以来、留学生や^{しんぜんとざんたい はけん}親善登山隊の派遣、市内中高生の研修訪問、ベルンドルフ市のギムナジウム校（^{でんとうてき}伝統的な中等学校）生徒の受け入れなど、教育・文化を中心とした交流が続いています。また 5 年ごとに記念式典が行われ、両市の訪問団が互いに行き来しています。

2025 年（令和 7 年）は、交流開始から 60 周年を迎える節目の年であり、ベルンドルフ市を訪問する市民ツアーの^{じっし}実施や、10 月 12 日の提携記念日にベルンドルフ市で記念式典が^{かいさい}開催される予定です。